

## 幅広い医学的識見により癌の早期発見も



“口内炎が治らない”と東京審美会に相談にいらっしゃった患者さま  
総院長は、瞬時に舌がんの疑いが濃厚と判断！すぐその場で東大病院の口腔外科医に直接  
連絡。細胞診による精密検査を手配してもらいました。

歯科で使われている金属は、本当に安全なのでしょうか？  
がんの治療はスピードが大切です。東大病院との連携の強さ、医学的識見、即応体制が東京  
審美会の特徴です。



がんの摘出手術後55日目の経過観察。東京審美会に相談にいらしていただいてから…  
5日後には、東大病院での細胞診でClass 3 疑陽性の診断結果15日後には、東大病院で腫  
瘍性病変を疑い切除生検を実施し、SCC (高分化型) と確定診断 CT および MRI の検査で、  
舌深部への浸潤、リンパ節転移は疑われず c T1N0M0 と臨床診断34日後には、東大病院

にて全身麻酔科で腫瘍切除術（左舌部分切除）切除切片の病理診断では、Squamous cell carcinoma がんに対して、迅速な対応が良好な予後を決めます！

東京審美会では、**金属を使わない美しい“セラミック”“サファイア”製矯正装置をスタンダードとし約100%の純度の金箔を焼き付けている美しいゴールド・ワイヤーとの組み合わせを標準治療として採用しているのも素材の安全性に理由があります。**

また、患者さまに人気の舌側矯正装置ですが、インコグニト矯正をドイツから導入、お薦めしております。インコグニト矯正はドイツ本国にて、お1人お1人の歯にピッタリ合った矯正装置を安全性の高い金合金によりハンドメイドで製作するシステムです。

舌側矯正装置には“セラミック”“サファイア”製は、ございませんが、**インコグニト矯正であれば、患者さまのお口や歯にピッタリの金合金製の矯正装置で、快適な治療を受けていただくことが可能です。**

